

## 市長定例記者会見

と き: 令和5年6月23日(金)

午前11時00分から

ところ:市役所静岡庁舎8階 市長公室

1 静岡市が管理する河川の緊急点検結果と今後の対応 【河川課】

◇幹事社代表質問 担当「SBS」

次回の予定 7月7日(金) 午前11時00分~

## 静岡市が管理する河川の緊急点検結果と今後の対応

#### 1 令和5年台風2号の被害と対応について(インフラ・公共施設)

#### (1)台風2号の概況

台風2号では静岡市南部・北部に、6月2日(金)の午前に「大雨警報(土砂災害)」が、 午後には「土砂災害警戒情報」が発表されるなど、土砂崩れが懸念される気象状況で あった。※6月2日0時~3日11時までの市内最大累加降水量 葵区井川 496mm

1時間最大降水量(2日17時~18時) 葵区奈良間52mm

#### (2) 市内のインフラ・公共施設の主な被害と対応状況

台風2号は、静岡市内にも、法面が崩壊した県道南アルプス公園線をはじめ 92 路線 144 箇所の道路被害、崩れた土砂が流入した林道東俣線をはじめ 39 路線 74 箇所の林道被害、安倍川緑地・スポーツ広場など 22 箇所で土砂堆積が確認されるなど、インフラ・公共施設に被害をもたらした。

現在、静岡市では、既に予算措置されている災害復旧費を活用し、復旧作業を急いでおり、特に、静岡市が管理する河川に確認された堆積土砂については、順次、撤去作業を進めている。(後述)

種別	被害状況		
① 道路・河川など	(主)南アルプス公園線など 92 路線 144 箇所(法面崩壊、路肩崩落など)		
	杉沢川など 135 箇所 (土砂堆積など)	など	
② 林道・農道など	林道東俣線など 39 路線 74 箇所 (土砂流入、路肩欠損など)		
	農道戸倉和田島線など 62 路線 67 箇所 (土砂流入、倒木など)	など	
③ 公園・	安倍川緑地・河川敷スポーツ広場など 22 箇所 (土砂堆積など)		
スポーツ広場			
④ その他	日本平ポンプ場など3施設 (電柱倒壊など)		
	袖師小学校など6校 (雨漏り、倒木)	など	

<表1 市内のインフラ・公共施設の主な被害>

担当:財政課(221-1026)

#### 2 静岡市が管理する河川の緊急点検結果と対応状況について(別紙1参照)

台風2号の後、6月4日から9日にかけて、静岡市が管理する187の河川について、令和4年台風15号の際に土砂堆積や越水等が確認された箇所や、土砂が堆積しやすい河川合流部などの河川の弱点となっている箇所の緊急点検を実施した。

その結果、河道断面の3割程度以上(別紙2参照)に土砂堆積が確認できた箇所があった河川(堆積確認河川)が68あり、そのうち、堆積量が多く人家への影響があり危険度が高いと判断した10河川(緊急対策河川)について撤去作業を進めている。

すでに4河川での撤去作業が完了し、残り6河川についても6月中には完了できるよう 進めている。その他の堆積確認河川の土砂についても、9月末までには、関係機関と調整の 上、作業可能な河川より順次進め、撤去を完了したいと考えている。

河川への土砂堆積の原因としては、線形、河床勾配、合流部の構造的に影響を受ける箇所で、土砂の堆積を確認した。これらは、原因の一部として<u>河川上流域の砂防、治山堰堤の</u> 堆積土砂及び法面崩壊による土砂流出が考えられる。

区	点検対象河川数	堆積確認河川数	緊急対策河川数	堆積確認土量(㎡)
葵区	79	43	5	18, 100
駿河区	11	5	2	800
清水区	97	20	3	2, 400
合計	187	68	10	21,300

<表2 静岡市が管理する河川の緊急点検結果>



<土砂堆積の様子(杉沢川)>



<土砂流出の様子(油山の観音沢川)>

担当:河川課(221-1375)

### 3 今後の対応について

巴川などの治水対策も重要であるが、事前防災・流域治水としては、山の森林管理や保水 力の向上などが重要であると改めて認識。県とともに山の問題に取り組んでいく。

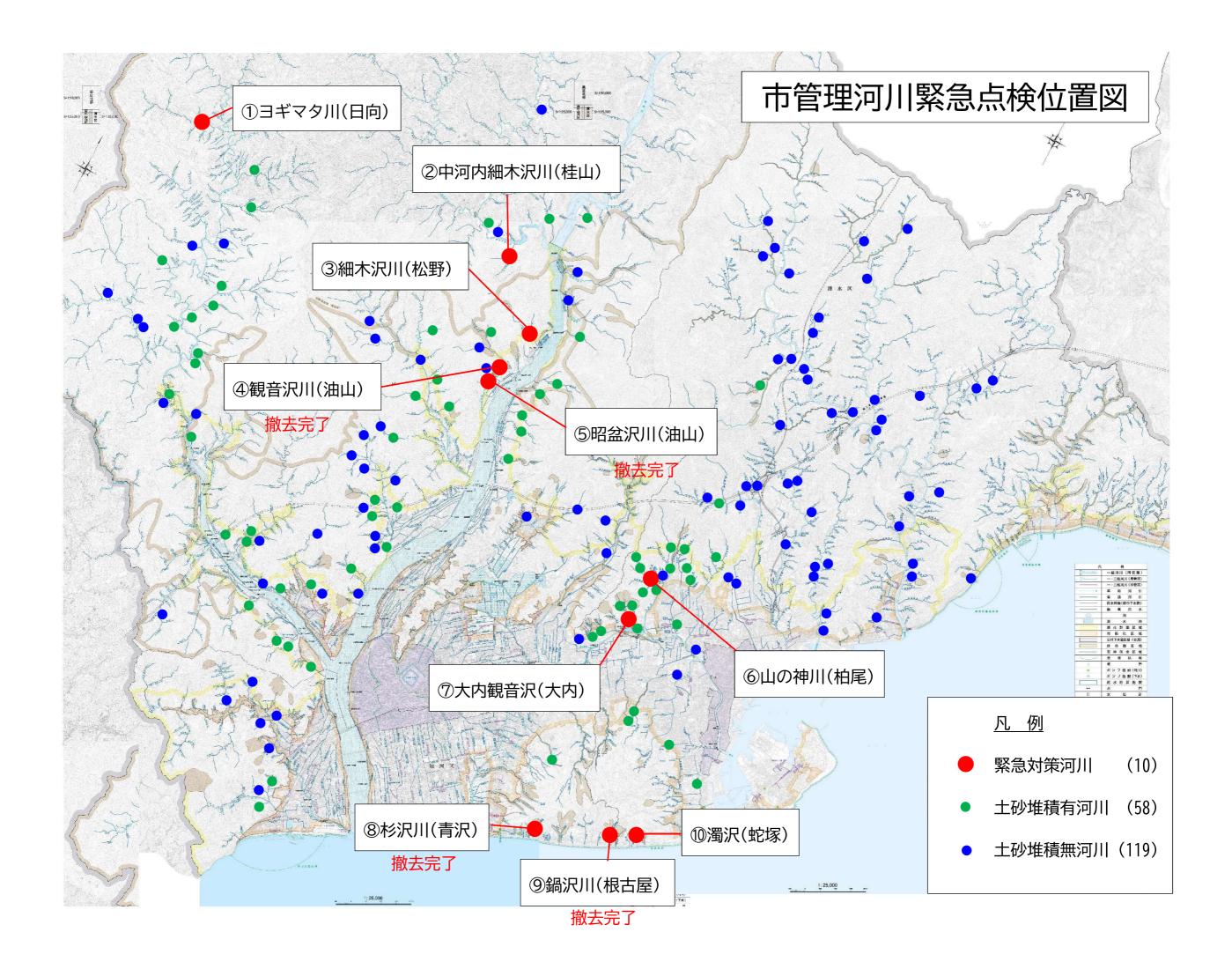


<伐採後に植林されていない様子(森林管理)>



<法面流水による土砂流出(保水力低下)>

担当:治山林道課(354-2145)、中山間地振興課(294-8807)



# 河川の断面図



※整備済河川は、計画河床高未整備河川は、現時点での維持管理目標河床高